

伯和西兩時報

本
行發四二紙
所行
市芬蘭
西六七〇
電話七
伯刺西爾時報社
科費年
多治六
日

張學良

軍籍より除名さる

十日開催の中央政務會特別會議に於て張學良を軍籍より除名することを決議した、その理由は

有田次官明答

熱河問題に關し

駐日英大使ソンドレイ氏は十一

外務省を訪れ熱河問題に關し

抗日準備

支那軍の

支那公使

空威張り

支那公使の

空威張り

支那公使

空威張り

良は今朝飛行機で上海に向つた
起點として長城に沿ひ熱河と支
那本土との間に中立地帯を設く
る意向を有して居る

熱河問題に關し

日本軍飛行機

長城を越へて

爆撃

京津線を

横斷して

支那軍の後方

を衝かん

北平駐在倫敦ディリー・ヘラル

ド紙特派員の報道として傳へら

古北口より卅五杆の地點に於て

遠に安全たらしめ得るのに、北

米に媚び、露西亞に阿ねる蒋介石

に雷同して徒らに國內を騒がす

から、北支の現状は軍閥互

に相許さずして、一時何かのはづ

ある半面に、自己あるを知つて

國家あるを知らぬと云ふ代物で

に雷同して徒らに國內を騒がす

は、自繩自縛の狂態と云はねば

ならない。石などに操つられ、抗日の惡名

に雷同して徒らに國內を騒がす



一日千秋の感ある

イデアル盆踊大會

植民地の盆踊大會

現在のノラジルに於ける我々の

日常生活に娛樂慰安の乏しい

事は何人も等しく感する處であ

るが、特に植民地農に於ては殆

んど零と云つてもよいと云ふ程

乾燥無味な状態であるから、何

とか方法をつけたいと思ふ矢

先き曩に拓務省の依頼を以て

ブラジル宣傳の爲め一時歸朝し

成功を收めて再びサン・パウロ

の役にも持つて來た大太鼓

小太鼓から一のヒントを得益

の人がなつた佐藤次郎氏の何か

お役にも持つて來た大太鼓

小太鼓から一のヒントを得益

の人がなつた佐藤次郎氏の何か

定期總會開催

リンス青年會の會員相互の向上

市でバールを開いて居る長尾茂

氏が尋ね来り「君が昨日買はれ

満喫しやうといふのである

リンスの土曜會

定期總會開催

リンス青年會の會員相互の向上

市でバールを開いて居る長尾茂

氏が尋ね来り「君が昨日買はれ

満喫しやうといふのである

定期總會開催

リンス青年會の會員相互の向上

市でバールを開いて居る長尾茂

氏が尋ね来り「君が昨日買はれ</p

都 華

羅府を中心として 未曾有の大震災

損害一千五百萬弗以上

去る十日午後六時五分、北米加州ロサンゼルス市々中心に突如強震起り、交通機関は全く杜絶し、競々たる有様である。此の震動の爲め羅府の舊商業會所は倒壊し、多數の死傷者を出し、又ウイルミントン方面より火災起り、火焰はロングビーチ商業區に擴り一面猛火に包まれてゐる。尙激震の範囲はサンタ・アンナ、サンベルナルド、サンタ・ナン・ペードロ、サンタバーバラ及び其の他の及んでゐる。

ルーズベルト大統領は此の報に接するや直に陸海軍に對し救援隊の出動を命じ、罹災民の救

助及び一般の秩序維持に當らしめることにしたので、サン・デイエゴ軍港より四十名の陸戰隊

出動ロングビーチ一帯の警戒に當り他方死體の收容を爲し、七

本年一月一日號の本紙上に於て伯國の產業組合に就き執筆され

た斯界の大家ドットール・クー

ニヤ・ブエノ氏は、曩に聯邦政

府の委嘱に應じ、來るべき憲政

の運用が實狀に則るや否か識らん

はつてゐる邦人關係者間に附付したいと

方の關係者をも試して意見の交換を行はんとしたが、歸論は氏の研究を悉く一般に知らしめ、併せてその批評を求める見込である。

熱河戰況詳報

我關東軍の黃部隊並瀋陽國軍、鈴木、早川部隊は、夫々通連、錦州及び山海關の東北方面に於いて、黃部隊であつたが、熱河の戰勝然するに及んで一齊進攻し、黃部隊及び瀋陽國軍は先づ開闢を、鈴木、早川部隊は出動ロングビーチ多數に達し死體收容殆ど不可能なる場所のある爲め實州奥地に於ける各國人の植民地内に於て、死傷數は非常に多數に上り、我軍は實にその十分の一である。

南凌の戰闘 在錦州の第一軍團隊は、同軍の主導に於て、我軍は實にその十分の一である。

朝陽の激戦 関東軍の發表によると、我軍は實にその十分の一である。

左帽山の激戦 我軍は實にその十分の一である。

湯玉軍の騎兵 第百卅九旅、最左翼は我軍は實にその十分の一である。

支那軍總崩れ 热河討伐戰線は實にその十分の一である。

和文の活版印刷 本會規約第九條の規定により販賣者が依頼する事に於て私有年は皆様の御期待にキット添ふ事を思ひます。

和文の活版印刷 本會規約第九條の規定により販賣者が依頼する事に於て私有年は皆様の御期待にキット添ふ事を思ひます。

クーニヤ氏の好意 産業組合法案を配布

本社に委嘱して
邦人組合關係者へ

水泳競技大会 ～参加希望者は～ ～ありませんか～

ガゼツタ紙主催の
水泳競技大会に
競技會生る

コレントーザに
競技會生る

炊事婦及子守
～身體強健にして住込み得る者～

女中入用
～年齢十五、六才位～

旅館
～年供すきな娘～

現在迄に判明せる死傷者數は、ロングビーチに於ける死者百名數は廿三回に上つてゐる。

者千五百名に上つてゐる。尙同市を中心とする死傷者數は、死者百廿名、負傷者四千百名と云はれ、此の激震の爲め同市一帯は火災の爲め火焰に包まれ今猶

は燃へつゝある。

別報に依ればロサンゼルス一帶及び第六、第拾兩街の家屋は火災の爲め火炎に包まれ今猶

は燃へつゝある。

三十九名、負傷者四、五千名と目され、一般損害は二千五百萬

が爲め旅客は勿論出荷者の迷惑が多かつた。

聖市サンジョアキン街
農家便覽を日本語にて出版し、タ挿繪を以つて痒い處に手の届

る。

ジユキヤ沿線
大雨で出水

世界に有数な肥料會社である加里農學協會伯國支部では、同會當局は多數醫師及び救護班の出

被つたが、其の額相當多いと云はれてゐる。

又、セードロ、ブライニヤ瞬間に山崩れあり、四、五十米突き立地水にて押流され汽車不通に陥り、七日に漸く通じたが是が爲め旅客は勿論出荷者の迷惑が多かつた。

ジユキヤ沿線
肥料の智識を得るに
講向きの良書

ジユキヤ沿線
肥料の智識を得るに
講向きの良書

世界に有数な肥料會社である加里農學協會伯國支部では、同會當局は多數醫師及び救護班の出

被つたが、其の額相當多いと云はれてゐる。

又、セードロ、ブライニヤ瞬間に山崩れあり、四、五十米突き立地水にて押流され汽車不通に陥り、七日に漸く通じたが是が爲め旅客は勿論出荷者の迷惑が多かつた。

ジユキヤ沿線
肥料の智識を得るに
講向きの良書

ジユキヤ沿線
肥料の智識を得るに
講向きの良書

世界に有数な肥料會社である加里農學協會伯國支部では、同會當局は多數醫師及び救護班の出

被つたが、其の額相當多いと云はれてゐる。

又、セードロ、ブライニヤ瞬間に山崩れあり、四、五十米突き立地水にて押流され汽車不通に陥り、七日に漸く通じたが是が爲め旅客は勿論出荷者の迷惑が多かつた。

ジユキヤ沿線
肥料の智識を得るに
講向きの良書

ジユキヤ沿線
肥料の智識を得るに
講向きの良書

世界に有数な肥料會社である加里農學協會伯國支部では、同會當局は多數醫師及び救護班の出

被つたが、其の額相當多いと云はれてゐる。

又、セードロ、ブライニヤ瞬間に山崩れあり、四、五十米突き立地水にて押流され汽車不通に陥り、七日に漸く通じたが是が爲め旅客は勿論出荷者の迷惑が多かつた。

ジユキヤ沿線
肥料の智識を得るに
講向きの良書

櫻井忠溫氏著

人生は流水の如し

「銃剣は耕す」より（十七）

1. 遺骨を前に

劍は耕すより（十七）

「機関銃も小銃も油が凍つて聲
になかつた程です、草をむしつて聲
では焚きながら、銃をあぶつて聲
は撃ちました、凍つた飯盒飯は
火にかけても一時間もしなければ
ば、との通りにならなかつた程で
す」

弾があつた、自動隊長Ｋ中尉は胸むねを貫貫通かれ死んだ、弾の通つたところに丁度手帳があつた、手帳には「人生は流るゝ水の如し」と書いてあつた、その字の上を弾が貫いたのであつた、

第一別冊附錄

流行新手藝全集

附：新型毛絲編物

• 10 •

に、坂が厚く盛り上つてゐる、地顔は出來さうにない顔である。兵隊は土を掘つてごうするのか知らぬが、こゝに断壠を造るのだらう、馬占山の家來とかも、命一戦やるとやらいつて力んでゐたさうだから、チ・バルでは負ける筈はない、つたなどと云つてゐたそうである——初つから負けるつもりのものはなからうから——併し負ける筈であつても、負けてみるとそんな筈はなかつたなどといひたがるものである。

この町の滿鐵公所が旅團長少將の本營である、日本軍が支那軍を追つ拂つた時、第一番に日章旗をたてたところである。この所のTと云ふ人が、どび込んで行つて——まだ支那兵の手をしてゐる中を真先に屋上

「あまり飛び出して三間房の敵の中へバツつかつて突き殺されたのもありました、チ・バルへ／＼と無闇に飛び出したものですから」

「Y上等兵は空腹でねひいとで動けなくなり、手も足も凍へてしまひました、しばらくしてしまつたとドン／＼チ・バルへ路ばたに倒れてゐる自分を見出した時はあたりは眞つ暗でした、しまつたとドン／＼チ・バルへ目がけて走りつゝまでしたが、町に取りつかうとしますと、支那兵がいっぽいウヨ／＼してゐますので、その煉瓦焼場の中へもぐり込みました、そして手榴弾を投げながら、群がる敵を相手にしてゐる中に斃れました、これが日本軍として一番最初に

弾があつた、自動隊長Ｋ中尉は胸を貫かれ死んだ、弾の通つたところに丁度手帳があつた、手帳には「人生は流るゝ水の如し」と書いてあつた、その字の上を弾が貫いたのであつた、